

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493200057	事業の開始年月日	平成18年11月1日	
		指定年月日	平成18年11月1日	
法人名	株式会社 ウイズネット			
事業所名	グループホーム みんなの家 横浜上白根			
所在地	(〒241-0001) 神奈川県 横浜市旭区上白根町977-3			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成30年11月20日	評価結果 市町村受理日	令和2年2月7日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>「笑顔あふれる 活動的なサービスの提供を」 日々の生活がいきいきと楽しく過ごしていただきたいと思っています。 四季おりおりの季節を感じて頂くために毎月の行事に力をいれています。 今年は納涼祭に利用者のご家族が所属するゴスペルミュージックのメンバーが 来られて歌を唄っていただきおおいに盛り上がりました。 また、地域貢献の一環として「福祉フェスタ」のお手伝いをしています。</p>
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益財団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	平成30年11月26日	評価機関 評価決定日	平成30年12月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の概況】 事業所はJR横浜線、市営地下鉄グリーンラインの中山駅、相鉄線の鶴ヶ峰駅、三ツ境駅からバスにて約10分、下車後幹線道路から徒歩6分程の高台にある。便数も多い。よこはま動物園ズーラシアや白根大池公園が間近にあり、竹林、雑木林に囲まれた豊かな自然環境である。軽量鉄骨造の2階建てで、テラスやベランダ、スロープ、駐車場を備え広々としている。屋内は細部まで清掃が行き届き清潔感がある。</p> <p>【地域に支えられた生活】 日ごろから散歩に出かけると、隣接する大家さん宅の庭木や花を見せてもらったり、公園やログハウスに集う子どもたちと交流する機会がある。1月には地域の保存会によるお囃子や獅子舞が立ち寄り、近隣住民が餅つきを見せてくれたり、つくたてのお餅を分けてくれたりする。防災訓練に地域の方の参加があり、非常時に協力を得られる関係ができています。事業所では、今宿中学、旭北中学の福祉体験の学生を毎年受入れ、近隣の団地で開催される福祉フェスタには、職員が手伝いに行き、事業所への理解を求めている。利用者は地域の方に見守られ、生活を楽しんでいる。</p> <p>【安全管理の徹底】 事故防止のために、服薬ルールや「転倒・骨折防止のための具体的行動・対策指針」などの掲示により、職員の注意を喚起し、職員同士で確認をしながら、手順に沿った支援が行われている。職員会議の中でヒヤリハットの分析を繰り返し行い、徹底して安全管理に取り組む事業所の職員の姿勢がある。また、2ヶ月に1度開催される家族会や運営推進会議において事故発生や経緯説明を行い、情報公開にも努めている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家横浜上白根
ユニット名	1 U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

事業所名	グループホームみんなの家横浜上白根
ユニット名	2U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔あふれる活動的なホーム」にそって利用者様の心に寄り添い笑顔になれるよう努力し実践します。	会議の中で、何かを決める時、迷った時には理念に立ち戻り考え、確認している。特にケアについては「先ず、明るく活動的に」を心がけている。利用者の自立支援の視点から、出来る事はやっていただくことを大切にしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	重度化していく中で個別に地域の公園に散歩に行ったり、庭や駐車場で外気浴をしています。	上白根町自治会に加入している。1月にはお囃子保存会が来訪し、獅子舞の披露もある。利用者の重度化や交通事情、坂道もあり、出向いて地域の行事に参加することが難しくなっているが、納涼祭では地域住民が配膳の手伝いや利用者の浴衣の着付けを行い、一緒に楽しむ場面もある。毎年中学校2校から福祉体験学習での訪問がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献を目的とした地域のホームや施設が共同し「福祉フェスタ」に毎年参加しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、地域の方、包括の方達に参加していただき活動状況等を報告する中で要望・助言を頂いてます。	運営推進会議は2ヶ月毎に開催されている。民生委員、老人会役員、町内会福祉役員、地域包括支援センター職員、管理者の出席がある。事業所からは活動状況報告、地域からは施設の行事についての感想や自治会行事の案内がある。災害時対策の具体的な話し合いもあり、大家さん、隣人から協力の申し出もあった。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区役所の福祉センターの担当が来所されたり、区に出向き助言を頂いたりしています。	介護保険更新日が近づいた利用者家族には声かけを行い、家族に申請手続きをお願いしている。生活支援課の担当者の来訪や電話での問い合わせがあり、入居者の様子を伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関はオートロックになっています。他には事故につながる所は安全の為、施錠していますが（お風呂場、薬の保管場所）、身体拘束につながるような拘束はしていません。	身体拘束廃止委員会を毎月開催し、検討を行っている。職員は、出勤時には、「虐待0への行動指針」を各自読み上げ押印をしている。夕方になると出て行くとする方には後ろから職員がついていく。敷地内に駐車場や隣接する大家さん宅の庭まで続くなだらかなスロープがあり、ホームの周囲を歩いて気分転換をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員2人体制で毎日の身体チェックを行い、不審な痣や傷がないか確認しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修を行い、内容を全体会議などで話し合っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	あらかじめ契約書のサンプルに目をおして頂き、契約当日には改めて説明を行い、納得頂いて契約しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会での意見や、面会時に何でもお話しして頂き運営に反映させています。	家族会は2ヶ月に1回開催している。特に事故やヒヤリハットについて説明を行っている。家族より行事の開催日が土曜日であればなお参加しやすい、との意見があり行事日程の変更を行った。インフルエンザ対策についての質問があり、対応方法を紹介し、家族にも協力をお願いした。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のフロア会議で個々の意見を募り運営に反映させています。	職員から、利用者の状態に応じて、個別の声掛けや対応を検討したいとの提案があり、フロア別の日程で会議を開催することを決めた。ケアの方法の変更や事業所の修繕の希望等が話し合われている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の希望を受け入れシフト作成にも考慮している。休憩時間についてもフロアや利用者様の状況を見て声をかけあい取るようにしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に研修を受ける機会を設け社内研修・外部研修などに参加できるようになっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	「地域施設連絡会」に参加させて頂き意見交換や情報交換などを行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の気持ちに寄り添い、寂しさ・不安なこと等を傾聴し、ホームの生活で我慢することが無く、スタッフに何でも話して頂けるような信頼関係を築けるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安、心配などの思いを伺い、安心して頂けるような会話に努めています。面会時に情報を提供すると共に意見を頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人と家族の希望があれば介護保険外のサービスを提供できるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	意思疎通困難な方もある中、お手伝いのできる方には食器拭きや洗濯物をたたむのを負担にならない程度で手伝って頂いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のお便りに、近況を報告したり行事の際にはお誘いをしたりしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	意思疎通が難しい方も多く、ご家族がお見えになっても認識ができていない方もいらっしゃいますが、ホームとしては関係が途切れないように努力していきたいと考えています。	近所の方、友人が来訪した折には居室に案内し、職員が湯茶を提供して歓談している。体力の低下や状態の変化もあり、徐々に家族との外出や自宅への泊まりがけの外出も減ってきてはいるが、家族と一緒に買物や馴染みの床屋に通う方もいる。手紙への返信を職員が手伝う場合もある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	朝の体操・レクなど（歌・カルタなど）を利用者の好みにあわせて行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院が長引きやむなくご退去される方にも、お荷物は継続してお預かりし退院時には再度お声かけをして、再入居がしやすいようにしています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	言葉にして伝えられない利用者様や、思いを伝える事の苦手な利用者様には表情や態度などから意向をくみ取り支援ができるようにしています。	おやつや入浴時の会話から本音を聴き取る工夫をしたり、態度や仕草から意向を汲み取るなど、職員は利用者寄り添う支援を行っている。過去に経験があるスポーツについて家族から情報を得て、言葉の少なくなった方との話題として活かした例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報や、日常での会話から情報を共有しています。お話ができない方でも日常の行動から本人の好みにあうケアを行うように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々変化していく利用者様の状態を、見逃さないようにするとともに先入観で判断しないように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的カンファレンスを行い、課題やケアの在り方について話し合っています。アセスメントを行いその時々現状にあった介護計画を作成できるように努めています。	毎月カンファレンスを開催し、職員は利用者の変化について検討を重ねている。介護計画上のサービス内容に番号を付して実施した場合はその番号を生活記録に記録している。モニタリング時には計画作成担当者が居室担当者等から情報を収集し、その後、担当者会議で実施内容について意見交換を行い、計画の見直しに活かしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、ケアの実践の様子を記録し、情報の共有を行いより良い暮らしができるように見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の要望に柔軟に対応できるように努力しています。利用者様の「たまには外食したい」などの個別な要望にも可能な限り対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方からボランティアの紹介を受け入れています。また納涼祭などのイベント時にはお手伝いをお願いしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回定期的な往診があります。特変時の場合も24時間対応なので安心して医療が受けられる支援をしています。	往診医は月2回訪問し、看護師と共に24時間オンコール体制を取っている。協力病院として総合病院の支援もある。月2回歯科医および週1回歯科衛生士の来訪が回ある。他科の通院は家族に協力をお願いしている。通院報告書や往診記録、処方箋綴り等で情報管理・共有が行われている。家族へは処方内容の説明が文書で定期的に行われている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	主治医・看護師・薬剤師との連携をとり利用者様の異変に対して早期に発見し対応できるように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリーを提供したり医師や、ケースワーカーと連絡を取り状態の把握をしています。状態によっては可能な限り早めの退院をするなどしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化・終末期においては、主治医・ご家族・ホームで話し合いの場を設け、主治医からご家族に説明と、今後に向けての方針を決め支援をするようにしています。	重要事項説明書、重度化した場合の対応に係る指針に医療体制、加算について細かく記載があり、契約時に説明がされている。医師により必要と認められた場合は医師、看護師、管理者等の連携のもと、本人、家族に状態、サービス内容についての説明を行う。	重度化の対応や看取りの経験豊富な職員がいる一方で、経験の少ない職員も在籍しています。管理者や経験豊富な職員、訪問看護師を講師とするなど現場や会議の場で短時間でも研修の機会を作ることが望まれます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に避難訓練時に消防隊員から、応急処置などの指導も受けています。災害に備え備蓄もしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防署・地域の方にも参加して頂き消防訓練を行っています。消火器を使っての初期消火の訓練や重度の方の避難誘導のアドバイスをしてもらっています。	消防署や、地域の方も参加して火災を想定した訓練を定期的実施している。備蓄品は3日分保管され、熱源も確保されている。夜間想定訓練も実施している。災害時には地域の協力を得られる良好な関係性が築かれている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様のプライドを損ねない言葉使いや、態度に注意をして日々の業務を行っています。	言葉遣いについて会議録に職員間での討議の記載が多数見られる。管理者は職員に自分が見学者の立場ならどう思うか、と問いかけている。個人情報に含まれる書類は事務室内に施錠保管し、日中記載する際も放置しないように事務室で管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	アセスメントやモニタリングなどで、利用者ひとりひとりの意向や要望をご家族様から頂いたり、表情から思いをくみとるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人個人のペースやこだわっている事を尊重し、毎日穏やかに過ごせるように努力しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様のこだわりや個性を大事にしています。好んで着られる服はすぐに着れるように洗濯してお返ししています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の個性をいかし、その方の「できる事」をして頂いています。また、食器やテーブルを拭くなど負担にならない程度に手伝っていただいています。	調理専門職員がおり、調理を一手にまかっている。献立は本社給食部管理栄養士が作成し、食材は事業所で発注している。できる方は食器拭き、テーブル拭き等の手伝いをしている。おせちなどの行事食、郷土料理、流しそうめんなど、季節毎の献立の工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量にむらがある方、食事をかき込んで食べてしまう方など個人の特性にあわせて対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、職員が口腔ケアを行っています。 また月2回の歯科医の往診と週1回の歯科衛生士が来て対応しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意・便意の無い方もいらっしゃいますが、排泄のパターンやシグナルをつかみ排泄介助をしています。	職員は本人の様子に注意したり、排泄サイクルを把握して排泄のタイミングを計り、声かけをしている。便秘への対応として、まず乳製品の摂取等を考え、困難な場合は看護師や医師に相談し、指示を仰いでいる。夜間の排泄場面では覚醒状況、歩行力によりポータブルトイレを使用する利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動を含め個別に対応しています。また必要に応じて牛乳やヨーグルトなどを摂取していただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週に2回を基準にしています。それにプラスして可能な限りご利用者様の要望にこたえるようにしています。	入浴は一日2人、基本は午後の時間に設定している。1階にはリフト浴用機器もある。入浴が苦手な利用者には対応する職員を替える、時間を置く、日を替える等の方法を取り、気持ちよく利用できる雰囲気を作っている。風呂は追い炊き機能がある。ヒーターやエアコンの設置による、ヒートショック対策をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々の生活の中で、穏やかに安定した時間を過ごせるようにしています。また、個別対応でその方にあった散歩や外気浴をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を使い医師の指示通り服薬を行っています。また誤薬の無いように服薬ルールを作って対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の好みにあわせてレクを行ったり、できる範囲でおやつに好きな物を提供したりしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日はお散歩をしたり、敷地内での外気浴をしています。また、介護タクシーや送迎サービスを利用し近くのお店で外食をしています。	毎日朝10時にテレビに併せてラジオ体操を食堂で行っている。天候のよい日にはベランダや玄関先の駐車場、隣接する大家さん宅の庭に通じるスロープで外気浴をしている。隣接する白根大池公園に散歩に出かける時もある。外食は月1~2回計画し、ファミリーレストランにお茶の時間に合わせて出かける時もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の状態に応じて対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	相手の事を認識しなくなってしまいう事が多くなってきてますが出来る限り仲介するなどして対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事で撮った写真や、レクで作ったものを飾ったりしています。	食堂は陽光がよく入り明るい。ホーム全体として安全な動線を確保するため、なるべく物を置かず、すっきりとしている。浴室は細部の備品まで丁寧に清掃され、トイレの匂いもなく清潔感がある。利用者が共同制作したクリスマスの飾りが玄関や食堂壁にあり、季節を感じさせる。事務室の2方向がガラス窓でフロアが見通せ、開放感・安心感がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファを置いたりテーブルの配置を工夫して対応しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全面を考慮したうえで、入居前に使われていたイスや部屋に飾っていたものを置いてもらっています。	備え付けとして空調設備、照明、チェスト、ロッカー、カーテン、ベッドの準備がある。各居室は整理整頓されており、掃除も行き届いている。季節の衣替えは家族の協力により、オフシーズの衣類は自宅での保管をお願いしている。表札は大きな文字で書かれており、わかり易い。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	環境整備を行い、安全に行動できるように歩行の障害になるようなものは取り除くようにしています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 GHみんなの家横浜上白根

作成日 2020/2/6

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	「看取り」安楽に終末期を過ごして頂く為にご家族様の協力が不可欠。またご要望の多様化・また末期の指標等知る必要がある。	・利用者様とご家族様の係り ・利用者様と職員の係り 方、介護のあり方を学ぶ	ご家族様の要望等真摯に受け止め、情報を提供しつつ協力を仰ぐ。また職員の定期的な研修等受けつつ利用者様の介護にあたる	6ヶ月
2					
3					
4					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。